

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2005-511819(P2005-511819A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-549465(P2003-549465)

【国際特許分類】

|        |        |           |
|--------|--------|-----------|
| C 11 B | 9/00   | (2006.01) |
| A 61 K | 8/00   | (2006.01) |
| A 61 Q | 13/00  | (2006.01) |
| A 61 K | 8/37   | (2006.01) |
| A 61 Q | 19/10  | (2006.01) |
| C 07 D | 213/06 | (2006.01) |

【F I】

|        |        |         |
|--------|--------|---------|
| C 11 B | 9/00   | M       |
| C 11 B | 9/00   | T       |
| C 11 B | 9/00   | W       |
| A 61 K | 7/46   | A       |
| A 61 K | 7/46   | Z       |
| A 61 K | 7/46   | 3 8 5 L |
| A 61 K | 7/50   |         |
| C 07 D | 213/06 |         |

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

7位において、直鎖状または分枝状C<sub>2</sub>~C<sub>10</sub>アルキルまたはアルケニル、およびアルキリデンからなる群から選択された置換基で単置換されたビシクロ[2.2.1]ヘプタン類またはヘプテン類を含む、香料組成物。

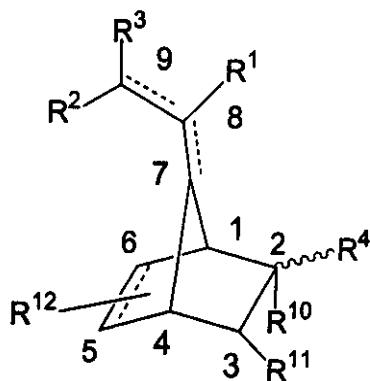
【請求項2】

7位において、アルキル、アルケニルおよびアルキリデンからなる群から選択された置換基で単置換されており、ただし、7-イソプロピリデン-ビシクロ[2.2.1]ヘプタン-2-カルボン酸メチルエステル；7-イソプロピリデン-ビシクロ[2.2.1]ヘプタン-2-カルボニトリル；7-イソブチルビシクロ[2.2.1]ヘプト-2-エン-2-カルボニトリル；7-イソプロピリデン[2.2.1]ヘプト-5-エン-3-カルボニトリル；および1-(7-イソブチル-ビシクロ[2.2.1]ヘプト-2-イル)-エタノンは除外される、ビシクロ[2.2.1]ヘプタン類またはヘプテン類。

【請求項3】

一般式

## 【化1】



式中、

R<sup>1</sup> は、水素もしくはC<sub>1</sub> - 6 アルキルであり；

R<sup>2</sup> は、水素もしくはC<sub>1</sub> - 6 アルキルもしくはC<sub>2</sub> - 6 アルケニルであり；

R<sup>3</sup> は、水素もしくはC<sub>1</sub> - 4 アルキルであるか；または

R<sup>1</sup> およびR<sup>3</sup> は、これらが結合している炭素原子と共に、5員環もしくは6員環の炭素環を形成し；

R<sup>4</sup> は、ニトリル基、2-、3-もしくは4-ピリジニル、ピラジニルまたはカルボニル基C OR<sup>5</sup>、基C (R<sup>7</sup>)<sub>2</sub> - OR<sup>8</sup>、またはオキシムもしくはオキシムエーテル基C = N OR<sup>1</sup> OR<sup>3</sup> であり；

R<sup>5</sup> は、水素、C<sub>1</sub> - 5 アルキル、C<sub>2</sub> - 5 アルケニルまたはOR<sup>6</sup> であり；

R<sup>6</sup> は、C<sub>1</sub> - 5 アルキルまたはC<sub>2</sub> - 5 アルケニルであり；

R<sup>7</sup> は、独立して、水素またはC<sub>1</sub> - 4 アルキルであり；

R<sup>8</sup> は、C<sub>1</sub> - 5 アルキル、C<sub>2</sub> - 5 アルケニルまたはカルボニル基C OR<sup>9</sup> であり；

R<sup>9</sup> は、C<sub>1</sub> - 4 アルキル、C<sub>2</sub> - 5 アルケニルまたはOR<sup>6</sup> であり；

R<sup>10</sup> は、水素またはC<sub>1</sub> - 4 アルキルであり；

R<sup>11</sup> は、水素またはC<sub>1</sub> - 4 アルキルであり；

R<sup>12</sup> は、水素またはC<sub>1</sub> - 4 アルキルであり；

C<sub>7</sub> とC<sub>8</sub>との間の結合およびC<sub>8</sub> とC<sub>9</sub>との間の結合は、共に単結合であるか、または点線は、C<sub>7</sub> とC<sub>8</sub>との間の結合もしくはC<sub>8</sub> とC<sub>9</sub>との間の結合と共に、二重結合を示すことができる；C<sub>5</sub> とC<sub>6</sub>との間の結合は、単結合であるか、または、R<sup>4</sup> が基C (R<sup>7</sup>)<sub>2</sub> - OR<sup>8</sup> のときは、点線と共に二重結合を示すことができる、で表される化合物。

## 【請求項4】

請求項2に記載の化合物の製造方法であって、置換フルベンを、-不飽和ケトンもしくはエステル、またはビニル-ピリジンと、ディールス-アルダー条件下で反応させる段階を含む、前記方法。